

# 下鎌田小学校・下鎌田西小学校の統合・改築について

令和2年12月5日  
保護者説明会資料

## 1. 統合・改築の理由

### 両校の近接配置

学校適正配置の観点からも近接配置を見直す必要があります。

### 学校施設の老朽化

下鎌田小は築62年となり、早期に学校改築を行う必要があります。

### 年少人口の減少

両校がある東部地域の6～11歳の人口は、今後10年間で約600人減少し、その後も減少傾向は続く見込みです。

東部地域の人口推計（6～11歳）（単位：人）

	2020年	2025年	2030年	2040年	2050年
6～11歳	4,865	4,558	4,288	4,173	4,108
2020年比		6.3%	11.9%	14.2%	15.6%

### 参考 児童・学級数の推計

		R2	R3	R4					
下鎌田小	児童数	294	306	302	統 合	R5	R6	R7	R8
	学級数	11	11	11		851	847	844	842
下鎌田西小	児童数	496	518	536		26	25	24	25
	学級数	16	17	18					

下鎌田小の校舎老朽化による建て替えのタイミングにあわせ、学校適正配置に取り組みつつ、将来的な児童数の減少も見据え、両校の統合を行う。

### 統合・改築の概要

- 下鎌田小と下鎌田西小を令和5年4月に統合します。  
令和5年4月より通学区域を一部変更します。
- 令和5・6年度に下鎌田西小敷地で新校舎を建設し、工事期間中は、下鎌田小の校舎と仮設校舎で学校運営を行います。
- 令和7年4月より新校舎で学校運営を開始します。

## 2. 統合による効果と課題

### 【効果】

- 新たな児童同士の出会いが増える。
- 多様な意見と触れ合う機会が増え、学力や学習意欲が向上する。
- 音楽、体育等の集団で行う授業が充実する。
- 競争性が生まれ、意欲や成長がより感じられる。
- 教員の経験年数・専門性等バランスのとれた配置が可能となる。 など

### 【課題】（「」は対応案）

- 児童が新しい環境に慣れるまでのフォローが必要。  
新しい環境にすぐ溶け込めるよう統合前に児童交流を実施します。
- 児童一人あたりの校舎・校庭面積が狭くなることによる活動への影響。  
新校舎の設計上の工夫により校舎・校庭面積を確保します。
- 通学距離や通学時間が長くなる場合がある。  
通学区域の変更に合わせて、より安全な通学路の設定を行います。 など

更なる教育環境の向上を図る

## 3. 統合に向けた取り組み

### 主な検討事項

- 校名・校歌・校章の方針
- 統合後の通学区域及び安全な通学路の確保
- 学用品の方針
- 児童交流の方法・時期
- 少人数学級（30人学級）の動向

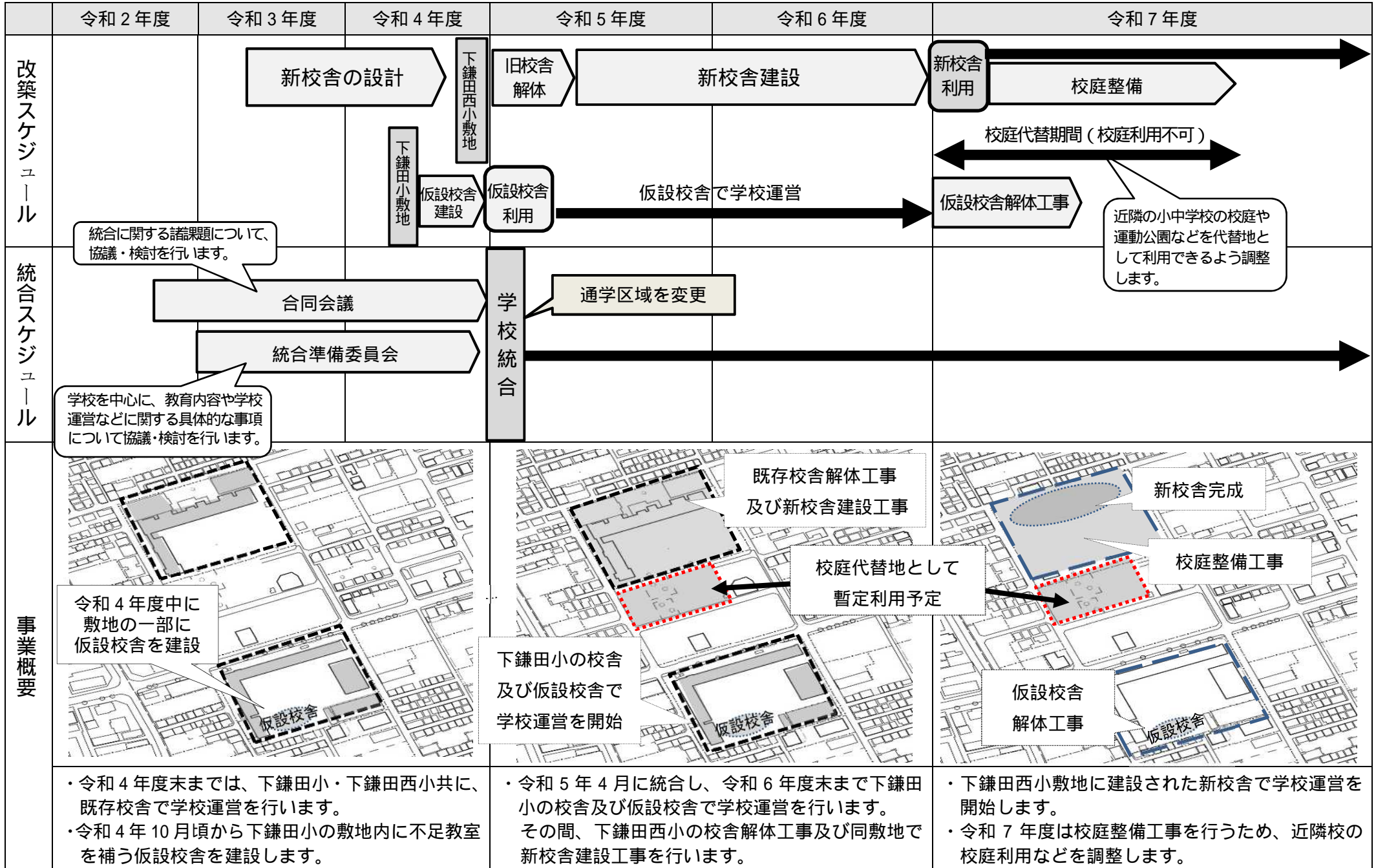
など

- 今後、統合に係る諸課題について検討し、統合前の準備や調整を行っていきます。
- 検討した事項については、説明会や区ホームページで保護者の皆様へ適宜お知らせいたします。

区ホームページ QRコード



# 下鎌田小・下鎌田西小 統合・改築事業スケジュール



統合に関する課題について、協議・検討を行います。

学校を中心に、教育内容や学校運営などに関する具体的な事項について協議・検討を行います。

近隣の小中学校の校庭や運動公園などを代替地として利用できるよう調整します。